

第 182 号

Super Highway
春闘速報 26

発行日
2025. 3.21

J R 東労組バス関東本部

申 9 号 2025 年度賃金引上げ等に関する申し入れ

第 3 回団体交渉開催！

21 日 10 時半より本社会議室において、申 9 号について議論を行ってきました。

組合の主張

◎我々の要求の 1/4 程でほど遠い金額。物価高に関して回答書に記載はあるが、平均 3.68 の賃上げ率では追い付いていない。17 日の第 2 回から中 3 日のスケジュール感で、我々が訴えてきた春闘への訴えがどこまで伝わっていたのか疑問である。他社の妥結はベア 1 万円を超えてきており、都内や千葉などは我々の 20 万 6000 円よりはるか上、人材確保などで負けてしまわないか危惧する。業績の還元だけではないというが、他社を見ていると赤字決算の会社であっても満額回答している会社もある。この会社がこの先存続していく為に人材を確保できるか、働いていけるかというのも大切ではないのか。

会社の考え

◎賃上げ率は 3.68%。旧プロパー社員に何も無いのかと訴えられることがあったが、会社は逆に危機感を抱いていた。これでやっとニュープロパーが旧プロパーに追い付いてきた。昨年までになかったのは、60 歳までベア 4000 円基本給改善を 100/100 実施するということ。エルダー社員について記載がないのは、制度変更で改善したので今回のベアは実施しない。4 月も 7 人入る、初任給は大事だと思うがそれ以外で十分勝負できる部分はある。30・40 代のニュープロパーの流出は問題視してきた。昨年は 55 歳以上を改善したし、危機感の表れはある。会社が今出せる限界値、それ以上にプロパー、57 歳以上の方へのメッセージも乗せた、その部分は汲み取ってほしい。

我々の求める内容に到底及ばず、席上妥結するものではない。持ち帰り議論するとしました。

※議事録等、詳しい内容は組合員の皆さんに別途お知らせします。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！